

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	若年人材確保事業	コード	32101
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 産業振興部	課等 工業振興課	作成者 増田 亮吾
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政策	勤労者対策の推進	施策	雇用対策の充実
		予算科目	若年人材確保事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	就職を希望する若年者と岡谷市内の企業を対象に、雇用の安定と人材育成のために、優秀な若年者を岡谷市へ就職させることを目的とする。	
目的	対象者	就職活動をしている若年者（大学生、高校生）
	意図	若者（主に新卒）の就活を支援する

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
若年人材確保事業として岡谷労務対策協議会、商工会議所と連携し各種事業を行なった。 ○おかや就活サークル その1 24名、その2 1日目5名、2日目9名、その3 2日目5名、見学2名 ○採用担当者向けセミナー 29名 ○大学訪問事業 関東方面 29校、中京方面 7校訪問 ○就職準備セミナー 岡工にて講師1名1校（岡工） ○新入社員激励会 136名 ○大学情報交換会 57大学、企業側54社（東京）○山梨英和大学、東京電機大学×2、山梨大学学内企業説明会 ○保護者向け就職セミナー テクノプラザにて 講師3名 20名参加 ○諏訪圏工業メッセ見学 岡谷工業高校2年生 ○若者相談事業（夜間休日相談） ○諏訪地域合同企業説明会（2019対象計3回、2020対象計3回）参加企業計545社（市内122）参加者計370人 ○インターンシップ促進補助金の実施 30社 318,000円 ○中学生就職応援事業 市内3中学校2年生4校 ○校内企業説明会3年生1校 ○ふるさと信州就職説明会・インターンシップフェア		
前年度の課題への対応	新規事業を立ち上げたほか、様々な若年人材確保対策に取り組んだ。 若者相談事業等を継続し、離転職防止に努めた。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	大学等訪問数及び説明会開催大学数の合計			単位	回
	実績値	28	26	40	
	*指標の説明				
② 成果指標（指標名）	岡谷市内への若年者就職者（激励会への参加数）			単位	人
	目標値	153	153	154	154
	実績値	142	154	136	
	達成度	92.8%	100.7%	88.3%	
	*指標の説明	大卒・高卒などの採用数（新入社員激励会参加者数）			
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の実績値の最大値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	1,812,990	1,849,200	2,593,342	3,249,000
経常経費	1,812,990	1,849,200	2,593,342	3,249,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	5,840,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000
正規職員の人数(人)	0.73	0.60	0.60	0.60
③ 合計コスト(①+②)	7,652,990	6,649,200	7,393,342	8,049,000
前年度比		86.9%	111.2%	108.9%
財源	7,652,990	6,649,200	6,842,342	8,049,000
一般財源				
内訳	0	0	551,000	0
特定財源				
* 特定財源の説明 若年人材確保事業に対する元気づくり支援金				
④ 活動一単位あたりコスト	273,321	255,738	184,834	
前年度比		93.6%	72.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
岡谷労務対策協議会 負担金	件数	1	1	1	1
	金額	1,423,000	1,423,000	1,423,000	1,423,000
インターンシップ促 進補助金	件数	25	32	30	41
	金額	264,000	324,000	318,000	432,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	1,687,000	1,747,000	1,741,000	1,855,000
	割合	93.05%	94.47%	67.13%	57.09%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 88.3%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 88.3%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 大都市圏の採用活動の活発化や学生の強い大手志向などに伴う、市内企業の若年人材の確保 市内企業における若年者の3年以内離職に対する人材定着	
	改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 継続的に大学訪問、説明会等を行い地域の企業周知 特に保護者に対する周知活動の強化 企業の枠を越えた新入社員の交流機会の提供
改善開始時期		平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---